

紙製容器を採用し、プラスチック使用量を55%^{※1}削減

～環境負荷低減と、次世代を担う子どもたちへの啓発活動を推進～

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林一俊)は、幼少期からの紫外線ケアの啓発・普及を目的とした、株式会社Sunshine Delight(本社:東京都三鷹市、代表取締役社長:伊藤瑛加)との協働プロジェクト「紫外線から美と健康を守るプロジェクト」で展開する日やけ止めにおいて、当社では初めて、紙製キューブ型容器を採用しました。これにより、プラスチックで同じ容器を作った場合と比較して、プラスチック使用量を約55%^{※1}削減できます。^{※1} 凸版印刷株式会社による算出



「紫外線から美と健康を守るプロジェクト」は、幼少期からの紫外線ケアの重要性の認知向上と、ケア習慣の普及を目的として、事業化に向けて取り組んでいます。現在、事業化に先だち、幼保施設等への子ども向け日やけ止めの提供などによる実証実験を行っています。製品の特長としては、「子どもにやさしい」「環境にやさしい」というコンセプトを掲げ、子ども使用テスト済み、紫外線吸収剤不使用、大容量、ディスペンサー仕様の日やけ止めとなります。

今回、この日やけ止めに、凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴)が開発した紙パック容器「キューブパック™」を採用することで、プラスチック使用量の削減による「環境にやさしい」容器を実現しました。紙製容器を採用することは当社では初めてとなります。次世代を担う子どもたちに、紙製容器の日やけ止めの使用を通じて、紫外線ケアの重要性とともに、地球環境保護などサステナビリティの取り組みに関心を持ってもらえることを期待しています。

コーセーグループは、2020年4月に「コーセー サステナビリティ プラン^{※2}」を発表し、代表ブランド『雪肌精』においてプラスチック容器回収プログラムを実施する^{※3}など、持続可能な社会・地球環境の保護に向けた取り組みを積極的に推進しています。今後も、サプライチェーン全体を通じた環境負荷低減に向け、取り組みを加速していきます。

^{※2} 2020年 4月 30日発行ニュースリリース : <https://www.kose.co.jp/company/ja/content/uploads/2020/04/20200430.pdf>

^{※3} 2020年 10月 27日発行ニュースリリース : <https://www.kose.co.jp/company/ja/content/uploads/2020/10/20201027.pdf>